

令和6年第3回 日高市教育委員会会議録

|               |  |
|---------------|--|
| 開催の日時         | 令和6年3月14日（木曜日）<br>午後1時50分から4時23分まで                                     |
| 会議開催の場所       | 市役所501会議室  |
| 会議の公開又は非公開の別  | 公開。ただし人事案件については非公開。  |
| 非公開理由         | 個人に関する情報が含まれるため。   |
| 出席委員の氏名       | 中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子   |
| 欠席委員の氏名       | なし   |
| 説明員の職氏名       | 教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則 |
| 出席した事務局職員の職氏名 | 教育総務課主幹 大河原夏樹  |
| 傍聴者数          | なし   |
| 会議資料の名称       | 会議次第、教育長報告、議案第7号～12号   |

**議題及び決定事項等**

議案第7号 令和6年度日高市教育行政重点施策の策定について

【原案どおり可決】

議案第8号 学校医の任免について

【原案どおり可決】

議案第9号 日高市地域学校協働活動推進員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第10号 日高市スポーツ推進委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第11号 日高市教育委員会職員の人事について

【原案どおり可決】

議案第12号 職員の懲戒処分について

【原案どおり可決】

**会議の経過**

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

## 2) 教育長報告の要旨

- 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
- その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

## 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

### 【教育長報告関連】

- (委員) かわせみマラソン大会について、東京マラソン大会では亡くなられた方がいた。規模は違うが出場基準を明確にし、リスクを低減させた方がよい。また、救護班はどうなっているのか。
- (生涯学習課長) 救護については、医師会に依頼をしている。5キロコースは40分以内の完走、10キロコースは60分以内など基準を設け、折り返しの段階で時間も決めている。今回は1名の体調不良者がいたが、救護車で救護した。
- (委員) 公民館の「お腹の元気教室」はだれが行うのか。
- (生涯学習課長) ヤクルトが行っている出前講座である。
- (委員) 市議会の一般質問にあった、文化財について、上手に使えば収入につながる。活用については、真剣に考えていったほうがよいと思う。
- (教育部長) 今までは、文化財の保護がメインであったが、活用にシフトしている。
- (委員) お金を生む方策を考えたほうがよい。
- (生涯学習課) これから作成する文化財の計画では、商工会や観光協会にもメンバーに加わってもらい、検討を進める予定である。
- (委員) 柔軟に考えて進めてもらいたい。
- (委員) 義務教育学校高麗小中学校開校に向けての安全対策について、校門から校舎の間に勾配があるので、降雪の際は、低学年には危ないかもしれない。融雪剤などで対策をしたほうがよいと思う。また、日当たりと湿気対策とはどういったことを行うのか。
- (教育部長) 校舎南側が山林となっていることと、校舎内に湿気がたまりやすいので、対策として、間伐や木質化を行うものである。
- (委員) 中庭も湿気があり、苔が生えやすいので注意が必要である。
- (委員) 学校健康診断時のプライバシーへの配慮について、心音を正確に聞き取るには素肌で聴診する必要がある。しっかりとパーテーションをしてプライバシーを確保して実施することが大切である。また、アトピー性皮膚炎の子どもにも気を使った方がよい。
- (委員) 学校評価について、A評価（ほぼ達成8割以上）とB評価（おおむね達成6割以上）を合算させた割合で評価結果を出しているが、合算するのであれば、AとBで選択肢を分けなくてよいのではないか。さらに、合算しているにも関わらず、職員と保護者に乖離が大きい項目には問題がある。特に、いじめや学力についての項目で乖離が大きいことは問題である。課題を分析して、解決策を示してほしい。
- (委員) リーディングスキルテストについて、義務教育学校だけでなく、全校で取り入れたほうがよいのではないか。
- (教育長) 将来的には、全学校で導入できればと思っている。

(委員) 知識量を問うのではなく、潜在能力を問うテストはよい取組である。教員が作成すれば予算がかからなくてすむのではないか。

(委員) 高校入試について、今年度の公立高校の合格率 91%は、合否だけでは判断できないが低いのではないか。

(委員) 教員の進路指導の度合いによっても合格率に影響してくる。近年では過度に指導はしない傾向にある。以前は家庭の経済力などにも踏み込んで指導することもあった。

(教育部参事) 最後は受験生本人と保護者の意思ということになる。

(委員) 学校選択制の問題を取り入れている高いレベルの学校もある。そこを塾まかせでいいのか。公教育でも高いレベルの教育を受けられるようにした方がよいのではないか。そのためには、早いうちに子どもたちの潜在能力を見極めることが大切だと思う。

(委員) 教員人事について、他市でも苦勞している話を聞く。来年度に向けての人事状況はどうか。

(学校教育課長) 中学校でいえば、同じ学校に長年勤務している教員の活性化をしていきたいが、教員不足等でなかなかうまくいかないところが課題である。

(学校教育課副参事) 小学校では、加配教員が足りていない。育児で退職や転出する教員の替わりを探すのも大変である。日高市では欠員は生じていないが、人手不足を感じている。

(委員) 特別青少年講演会「まちづくりはひとづくり」を聞かせていただいた。考えさせられるよい内容であった。地域ぐるみで子育て行うという昔ながらのやりかたである。実践できれば教員も楽になるのではないか。

(教育長) 地元の人顔がわかることは大切なことである。

(委員) やれる人がやればいい、やりたくない人はやらなくていい。楽しんでできればよいという言葉もよかった。

(委員) 高麗川中学校のプールの跡地はどうするのか。

(教育部長) 道路拡幅、交差点改良の計画がある。線形が決まってからフェンスを設置するなど考えていきたい。

(委員) 中学校3年生の娘がここで卒業するが、小学校1年生からの成長の記録をもらってきた。小・中学校が同じという日高市の特性の良さを感じた。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

##### 議案第7号

(委員) 英検に関して、準2級以上が必要な学校もある。もう少し早めに3級を受けさせてもよいのではないか。

(学校教育課副参事) 中学校卒業レベルが3級となっている。学力の差もある。

##### 議案第8号～12号 【非公開のため記載せず】

#### 5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 4 月定例会：4 月 18 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承
- 5 月定例会：5 月 30 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承